



診察室

ざくばらん

まず病気疑い

原因確かめる

初めての頭痛

ひとは誰も、年を取る度にいろいろな経験をします。もう初めてのことなどない、と思っほただ。が、残念ながら、命が尽きるまで思いがけないことは起る。

85歳のBさん。頭が痛いなんて、これまで一度もない。ホントや」と、やたら「初めて」といつことを強調する。1週間前から、頭全体だが、ことに前頭部や後頭部がグッと締め付けられるように痛くなった。締め付ける頭痛といえば「緊張型頭痛」など頭の周りの筋肉が硬くなって起きる慢性頭痛が考えやすい。だが、初めて経験する頭痛となると、まずは頭の中の病気を疑わなければならぬ。

さっそくMRI(磁気共鳴画像装置)で頭を調べてみると、両側の脳の表面に厚さ1センチ以上も水がたまってるのが分かる。少し血液も混じっているようだ。となれば、「外傷性硬膜下水腫」であろう。で、話を聞き直してみると約1週間前に、自転車に乗っていて転んだのだといない」と、Bさんは何にでもかたくなである。

硬膜下水腫は、脳を包んでいる薄い膜が裂けてできると思われる。が、比較的軽い頭部打撲でも起きる。いや、頭を直接打たなくても、Bさんのように腰を打っただけでも起きる。症状は、頭痛や頭重感が多い。が、無症状で経過し、治ってしまっひとも少なくないようだ。もっとも、中には慢性硬膜下水腫になって頭の手術が必要になる場合もある。

一般に、頭痛が初めて経験するようなものなら、ほっておいてはいけない。頭痛持ちのひとつでも、油断はできない。もしも、今回の頭痛が、いつもの痛み方と違つとしよう。なら、それは「初めての頭痛」ということになる。軽い痛みだからと、バカにしてはいけない。頭の中に異常がないと、誰が言えようか。

(石黒修三)いしぐろクリニック

・脳神経外科専門医、金沢市在住、射水市出身)

イラスト・野畑桃花

